

使い方 ①問題 1 2 3 ごとに、完答できたらマルをつけよう。
 ②28回まで終わったら、左はし「集計」らんに、①でつけたマルの数を書こう。

3/5題	③	① ②	②	①
------	---	--------	---	---

集計	28回	27回	26回	25回	24回	23回	22回	21回	20回	19回	18回	17回	16回	15回	14回	13回	12回	11回	10回	9回	8回	7回	6回	5回	4回	3回	2回	1回
13題	1	1		1 2			1		1				1 3		1						1	1		1				1
10題						1 2 3							1 2							1 2							1 2 3	
10題					1							1 2 3			1				1 2							1 2 3		
11題				3				1	1 2		1 2					1	1 3								1 2			
7題			2		2					2 3						2							3	2				
5題		2							3							2							1 2					
17題	2 3		1 2				2	1 2			1 2		2	2				1 2 3	2				2			1		

文意の確定
 接続の把握
 情報の選択
 関係の整理
 具体と抽象
 論理推論
 図との対応

読み方レスキュー
 グレードII
 7つのカチエックシート

文意の確定

「だれが(何が)?」「どうする?」「と問いかけよう。まず文の土台である「だれが(何が)どうする(どうした)」を見つける習慣をつける。

例 雨が降る道路をゆっくりと進むおばあさんが、前を歩いていた子どもに追いついた。

Q 「だれが?」「どうした?」

A おばあさんが 追いついた

これが文のキホンのキーすべての文はここからはじまる。

接続の把握

「だれが(何が)?」「どうする?」「と問いかけよう。まず文の土台である「だれが(何が)どうする(どうした)」を見つける習慣をつける。

例 「たとえば」「しかし」「つまり」「だから」「ただし」

例 [ex] 反対[⇔] 言いかえ[=] 結果[⇐] 付け足し[+]

つなげる語
記号で示すと
わかりやすい。

情報の選択

「だれが(何が)?」「どうする?」「と問いかけよう。まず文の土台である「だれが(何が)どうする(どうした)」を見つける習慣をつける。

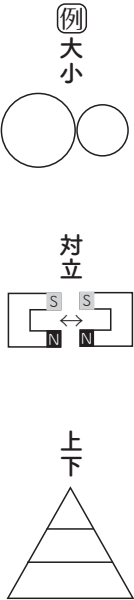
例 「もしもし、週末やっぱ雨みたいだから映画にしよう。そっくん、じゃあ二時に駅前で待ち合わせね」

いつ 天気 何する 時間 場所

必要な情報を見ぬぐ力、情報社会を生きぬこう。

関係の整理

「だれが(何が)?」「どうする?」「と問いかけよう。まず文の土台である「だれが(何が)どうする(どうした)」を見つける習慣をつける。



家族、先輩、友達、恋人... 身近な人間関係も図で表せるかも?

具体と抽象

「だれが(何が)?」「どうする?」「と問いかけよう。まず文の土台である「だれが(何が)どうする(どうした)」を見つける習慣をつける。



抽象を細かく分ければ具体になり、具体の共通点を集めれば抽象が導ける。

論理推論

「だれが(何が)?」「どうする?」「と問いかけよう。まず文の土台である「だれが(何が)どうする(どうした)」を見つける習慣をつける。



図への対応

「だれが(何が)?」「どうする?」「と問いかけよう。まず文の土台である「だれが(何が)どうする(どうした)」を見つける習慣をつける。



どちらも「触れる」と表現するけどでもどっちもが、それでは違いがわからな。